



全国で流行中! 手足口病

令和6年7月31日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第30週分・7月22日～7月28日)

《インフォメーション》

●手足口病

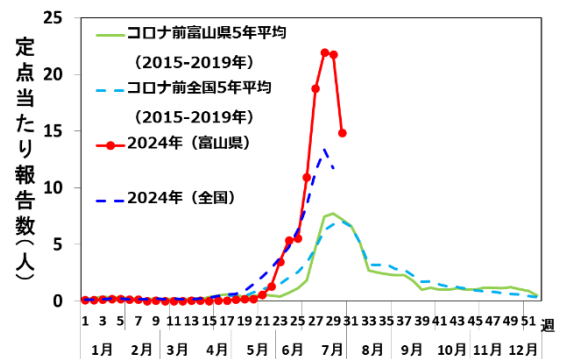
手足口病は、一般に夏季に増加し、例年7月下旬頃(28～30週)に流行のピークを迎える傾向があります。今年是全国的に、第15週から定点当たり報告数が増加しており、全国のコロナ前5年間の平均報告数と比較して高い水準で推移しています(右図)。

今週の県内の小児科定点医療機関あたりの手足口病の報告数は14.83人となりました。先週より報告数は大きく減少しましたが、未だ流行警報レベルである5.00人を超えており、注意が必要です。

手足口病は、コクサッキーウイルス(CA6、CA16、CA10)やエンテロウイルス(EV71)など複数のウイルスを原因とする感染症です。患者の年齢は、4歳位までの幼児を中心に流行が見られ、2歳以下が半数以上を占めます。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹がみられます。発熱やのどの痛み、食欲不振などがみられますが、一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。稀に、幼児を中心に髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識が消失するなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病に対するワクチンや抗ウイルス薬はありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染、水疱内容物からの接触感染です。症状がなくなった後も、2～4週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

手足口病患者報告数(全国・富山県)



- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、アルコールは効きにくいいため希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(80歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、男性、B群)
- 梅毒 2件(①第27週診断分:40歳代、男性、早期顕症梅毒I期
②60歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	14.83(↓)	21.76
2位	COVID-19	11.77(↑)	9.85
3位	RSウイルス感染症	2.97(↑)	2.41
4位	感染性胃腸炎	2.93(↑)	2.69
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.17(↓)	2.93
6位	ヘルパンギーナ	1.24(↑)	1.14

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



〇感染症発生動向調査報告状況（令和6年第30週 令和6年7月22日～令和6年7月28日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	8	2	23	5	32	70
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	2	12	3	19	41
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	3	3	3	10
四類感染症	E型肝炎											1	1
	レジオネラ症			1			1	2	1	8	1	15	27
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							1		3		8	12
	急性脳炎									1		1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1		3	1	9	14
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7
	水痘（入院例）							1	1				2
	梅毒				1		1	1		5	5	9	20
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳											1	1
インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ	9		1			10	1,076	1,029	4,041	1,563	5,068	12,777
		1.50		0.08			0.21						
	COVID-19	127	39	175	84	128	553	1,683	918	2,837	1,576	2,439	9,453
	21.17	7.80	13.46	12.00	8.00	11.77							
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	3	1	42		40	86	42	60	465	35	327	929
		0.75	0.33	5.25		4.00	2.97						
	咽頭結膜熱	8	5	2		9	24	95	253	658	34	672	1,712
		2.00	1.67	0.25		0.90	0.83						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		38	3	19	63	175	166	2,540	305	1,212	4,398
		0.75		4.75	0.75	1.90	2.17						
	感染性胃腸炎	18	5	9	2	51	85	699	624	1,368	654	3,189	6,534
		4.50	1.67	1.13	0.50	5.10	2.93						
	水痘			2		3	5	2	11	107	9	60	189
				0.25		0.30	0.17						
	手足口病	5	26	209	47	143	430	67	258	1,152	305	1,304	3,086
		1.25	8.67	26.13	11.75	14.30	14.83						
	伝染性紅斑					1	1	1		8	1	9	19
					0.10	0.03							
突発性発しん			2	1	3	6	8	12	89	23	83	215	
			0.25	0.25	0.30	0.21							
ヘルパンギーナ	2	2	2	5	25	36	66	17	69	22	152	326	
	0.50	0.67	0.25	1.25	2.50	1.24							
流行性耳下腺炎							3	1	5	2	7	18	
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
	流行性角結膜炎			1			1	8	1	29	5	9	52
			0.50			0.14							
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
	マイコプラズマ肺炎					1	1		2	8	1	2	13
						1.00	0.20						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179
	COVID-19による入院患者	12	8	9	9	20	58	136	122	98	163	410	929

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

全数把握
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）

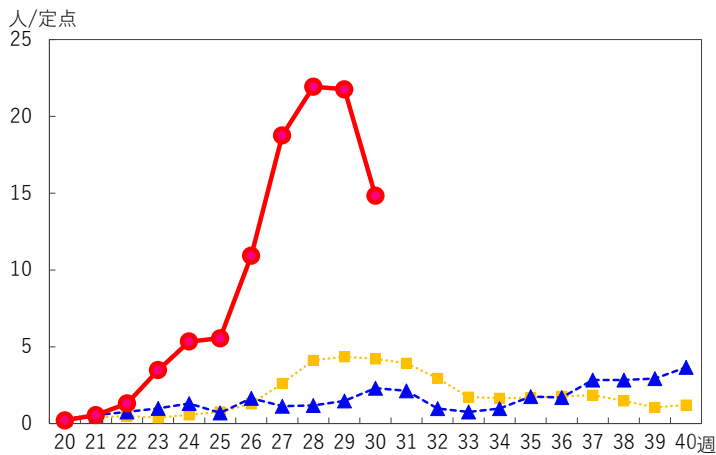
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第30週（7月22日（月）～7月28日（日））

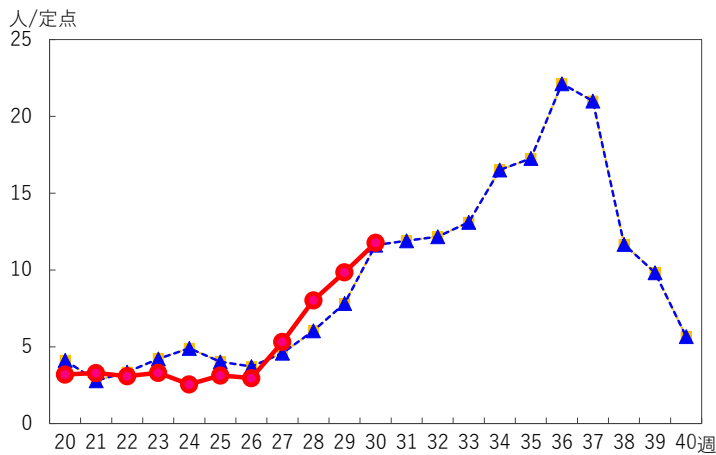
7月31日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

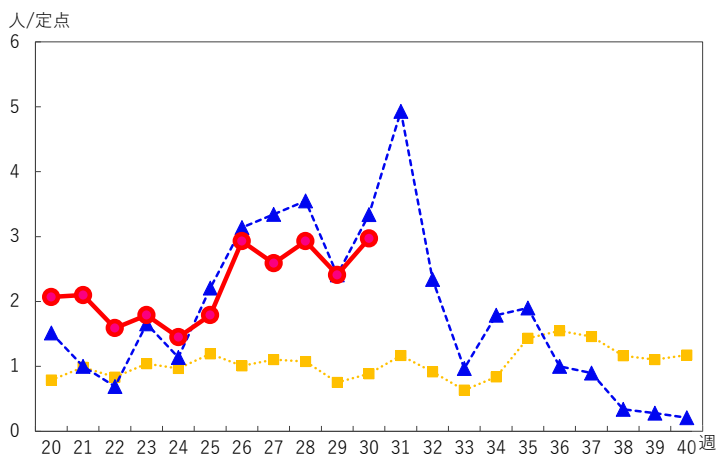
手足口病



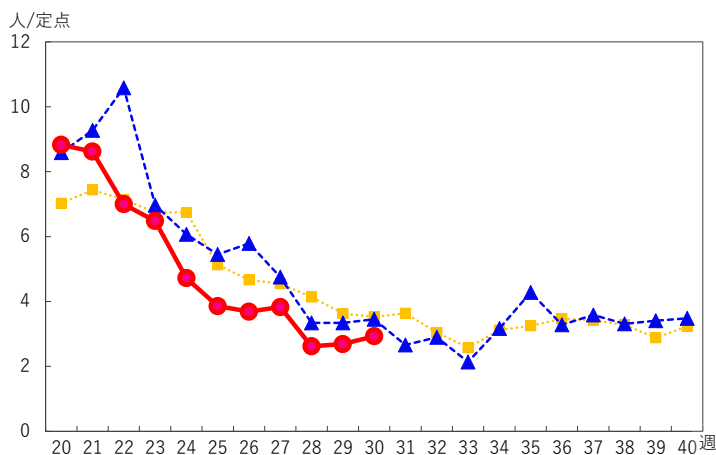
COVID-19



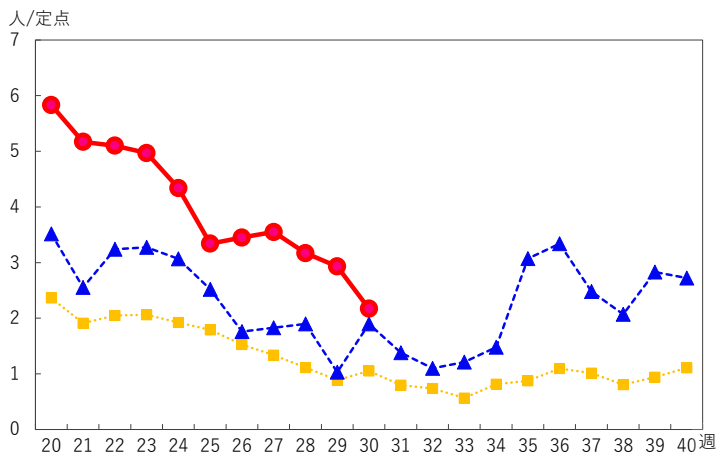
R S ウイルス感染症



感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



ヘルパンギーナ

